

富士市ボウリング協会の沿革

遠く7000年の歴史を持つといわれるボウリングが、昭和41年旧富士市に大富士ボウリング場(20レーン)の誕生によって、この富士市にも始められるようになった。

昭和45年には3センター68レーンになり、富士市におけるボウラー仲間も日増しにふえ、正しいボウリングを身に付けるため、熱心にトレーニングに励む選手も多く、健全なスポーツボウリング組織を作って、市体協に加盟しようと、昭和45年10月12日ダンスターボウルで設立準備の為の発起人会、続いて10月18日に第1回協会設立準備会を開催して、設立準備委員長 米田猛氏 副委員長 金指富士男氏・鈴木章平氏・秋山吉正氏・岡田一郎氏・秋山孝徳氏・遠藤武久氏を選出。そして名称を『富士市ボウリング協会』と定めた。

同年11月には富士市ボウリング協会章を制定した。協会発足準備のため1年近い間数々の会議を開き、昭和46年7月20日、待ちどろしかった富士市ボウリング協会が、めでたく発足した。そして次の目標である『市体育協会加入』に向かって、一層の努力することを誓った。

昭和46年7月25日に協会設立記念競技大会をダンスターボウルで開催した。(この時点で会員は560名)この日の模様はSBSテレビニュースで県下に放映された。またこの年の9月14日に市体育協会に加盟申請書を正式に提出した。毎年各種大会を3～5回の大会を実施。

昭和48年1月1日現在 会員数 1353名、競技場は 13センター 390レーンとなる。(過去最高)
昭和49年10月の富士市ボウリング選手権大会をアストロボウル(現ラウンドワン富士店)で開催した。この大会の時に、斉藤衆議院議員・渡辺市長・米田会長・アストロボウルより優勝旗が寄贈された。この優勝旗は、富士市スポーツ祭の一般男子・女子・シニアの部と総合優勝者の持ち回りとして使用された。昭和50年9月市体育協会加盟申請書を再度提出する。

昭和52年3月上部団体でもある 静岡県ボウリング連盟が、静岡県体育協会に加盟を承認された。

昭和52年当時の支部、会員数は	支 部	会員数	支部長
	JBC富士第一分室	50名	伊藤 篤
	JBC富士第二分室	28名	上籠 信男
	JBC富士第三分室	29名	山田 盛
	JBC富士第四分室	22名	伊藤 和生
	大富士 シニアクラブ	121名	白石 久弥
	スターメイシニアクラブ	53名	熊沢 厚
	アストロ シニアクラブ	77名	金森宇佐美

昭和52年5月富士市ボウリング協会は待望の富士市体育協会への加盟を認められた。(会員数約380名)

ボウリング場の数は13センター	大富士ボウル ダンスターボウル ミナミボウル パピーボウル アストロボウル ムツアイボウル スターメイト	グリーンボウル バイパスボウル 美松ボウル 上野スターレーン エーデルワイス はせがわボウル
-----------------	--	---

この昭和52年度の事業計画(スポーツ祭、3人チーム戦、2人チーム戦)が現在の大会の基本となっています。

また同年4月、第31回静岡県スポーツ祭ボウリング競技大会をアストロボウルにて開催。参加出場選手276名、3種目5部門で行なわれた。女性ボウリング教室が開校、レディースクラブが発足したのも、この年です。

レディースクラブ発足メンバー



その後、ボウリングブームが去り、センター閉鎖が続き、平成24年現在1センターのみである。センターの減少、会員の減少がつづいたが、ボウリング競技が昭和63年、京都国体の正式種目となり、富士市より中司友代氏が選手として、監督としては金刺努氏が参加されました。平成になってからは、大昭和製紙(株)ボウリング部、日産自動車吉原工場ボウリング部、山川工業ボウリング部の実業団が全国大会で優勝するなど、常に上位に入る活躍をしています。

平成13年宮城国体で少年女子で中野麻希選手が団体が優勝。

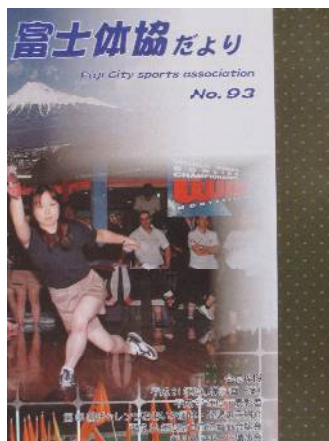
平成14年高知国体で 中野麻希選手が少年女子個人で優勝、団体戦では宮城国体に続いて2連覇達成、また男子ユースの部で原健生氏が優勝しました。

平成15年には静岡県で 第58回NEWわかふじ国体が開催されました。当初富士市での開催の予定でありましたが、センターの都合で、浜松市に変更開催となりました。

この第58回NEWわかふじ国体へは、富士市より男子ユースの部で原健生氏・男子マスターの部で石島哲也氏が出場、また少年男子監督として鈴木孝政氏・少年女子監督として青木美治氏が出場 ボウリング種目として天皇杯皇后杯取得に大きく貢献した。



この国体の選手で、少年女子団体の宮城国体、高知国体で2連覇し高知国体では個人優勝の中野麻希選手は、日本のナショナルチームのエースとして、海外でも活躍しました。また、富士体協だよりNo93(平成21年3月発行)の表紙をも飾っております。



最近では中野麻希選手につづくと笹木郁枝選手が平成17年の少年女子と平成22年成年女子で国体に出場し頑張っております。

平成22年には富山県で開催されたスポレク祭に静岡県代表として、富士市より 斉藤月嗣氏、加藤君春氏、杉山由美子氏が選手として、監督として鈴木孝政氏が参加、5名中4名が富士市から選出されました。

又、富士市体育協会の体育功労賞を平成19年度に、中司伍作氏が受賞されました。

平成23年度には、鈴木章平氏が、同体育功労賞を受賞されました。

優秀選手賞も、中野麻希、石島哲也選手らが常連として表彰されており、優秀団体でもジヤトコ、日本製紙、ユニプレスが表彰の常連となって全国大会での活躍を認められています。

平成19年より静岡県スポーツ祭が、しずおかスポーツフェスティバルと変更になりボウリングは東部地区として実施されておりましたが富士市はダブルスの大会を平成23年より別途実施しております。



平成24年しずおかスポーツフェスティバル富士大会上位入賞者